

4 番（小川義昭君）

いずれにしても1年間が経過しておりますが、余り前進していないのが少し残念でなりません。しかし、今ほど作野市長が答弁されましたように、JR松任駅周辺を中心とした白山市の顔、都心、そういったつくりに向けて、これからも商工会議所、そして各種団体などと連携をとっていただき、しっかりとこの白山市の顔づくりに取り組んでいただきたいというふうに思います。

それでは、2点目の質問に入ります。

これも同じく昨年9月の定例会において、本市の松任、美川、鶴来地域における商店街活性化計画の取り組みについて一般質問したところ、市長は、松任地域では現在計画策定の準備に入っており、認定申請の時期及び実施期間については、今後課題を整理した後にされるとし、さらに、市内プロジェクトチームの設置については、各地域商店街の計画策定に向けた方向性が定まった時点で必要に応じて関係部署を確定して設置したいと答弁されました。このことについても、その後1年が経過いたしました。担当部署の取り組み状況を拝見いたしますと、その方向づけが絞り切れていないように見受けられます。

特に松任地域については、市長自身、本市の中でも小売商業や公共施設が高度に集積している地域として、中心市街地として、その要件が最も満たされているところと認めているところであります。このたびは松任地区の中町の複合商業施設ジョイモール跡地を総合物流業者が再開発し、この12月にもコンビニエンスストアとコインランドリーを開店することが決まりました。

一方、松任地域の中心市街地に続く倉光地内で、来年12月開業に向けた大型商業施設の進出計画もあります。また、鶴来地域では、昨年の暮れ、郊外に大型ショッピングセンターの開店があり、鶴来中心部への客層の少なからぬ変化がありました。

こうしたことを踏まえ、今後の地域商店街の活性化計画について、市長はどのように考えておられるのかお尋ねいたします。